

# 全 員 協 議 会

日 時 平成 2 7 年 1 2 月 1 6 日 (水) 午前 1 0 時 ~  
場 所 全員協議会室

---

## 1 開議

## 2 行政報告

後期基本計画(案)及び人口ビジョン・総合戦略(案)について

(企画管理部)

・説明～質疑

## 3 その他

(様式)  
後期基本計画(案)、人口ビジョン・総合戦略(案)に係る意見調書

会派名 議員名		No.
------------	--	-----

No.	資料名	ページ	計画案等の内容	左記に対する意見等
1	≪資料3≫ ・後期基本計画(案)【P1～P28】  ・施策分野別基本計画(案)【P29～P114】  ・後期基本計画 資料編(案)【P115～P164】  ≪資料4≫ ・人口ビジョン・総合戦略(案)【P1～P62】  ※該当箇所に○印をしてください。			
2	≪資料3≫ ・後期基本計画(案)【P1～P28】  ・施策分野別基本計画(案)【P29～P114】  ・後期基本計画 資料編(案)【P115～P164】  ≪資料4≫ ・人口ビジョン・総合戦略(案)【P1～P62】  ※該当箇所に○印をしてください。			
3	≪資料3≫ ・後期基本計画(案)【P1～P28】  ・施策分野別基本計画(案)【P29～P114】  ・後期基本計画 資料編(案)【P115～P164】  ≪資料4≫ ・人口ビジョン・総合戦略(案)【P1～P62】  ※該当箇所に○印をしてください。			

## 総合計画・後期基本計画、亀岡市人口ビジョン・総合戦略に係る策定経過

年度	月日	事務局	総合計画審議会、策定部会	策定推進委員会(委員:部長会議メンバー)
H 2 6 年 度	5月15日		第1回策定部会 (1) 策定部会部会長、副部会長の選出 (2) 後期基本計画策定スケジュール等について	
	9月	亀岡市まちづくりアンケート(18歳以上の市内居住者に対し、郵送により配布・回収)		
	10月～11月	亀岡市まちづくり学生アンケート(市内の高校・大学に依頼し、配布・回収)		
	11月	亀岡市Webアンケート(18歳以上市内居住者に対しアンケートサイトへ案内送信、Web上で回答・回収)		
	12月17日		第2回策定部会 (1) 今後のスケジュール(後期基本計画策定) (2) 亀岡市まちづくりアンケートの結果報告について (3) 本市の変化及び後期基本計画に係る重点テーマについて (4) 前期基本計画の進捗状況について	
	12月24日			第1回策定推進委員会 ・後期基本計画に係るスケジュールについて ・後期基本計画策定に係るアンケート結果の報告等及び重点テーマについて ・後期基本計画案の作成について
	12月～1月	各部・室へ後期基本計画プランニングシートの作成依頼		
	2月23日			第2回策定推進委員会 ・後期基本計画(案)について ・地方版総合戦略策定について
	2月26日		第1回総合計画審議会 ・後期基本計画の策定等について	

年度	月日	事務局	総合計画審議会、策定部会	策定推進委員会(委員・部長会議メンバー)
H 2 7 年 度	4月24日			第1回策定推進委員会 ・後期基本計画(案)について
	5月21日		第1回策定部会 (1)後期基本計画の策定について (2)後期基本計画(案)第1章及び第2章について	
	6月4日		第2回策定部会 (1)後期基本計画(案)第3章～第5章について	
	6月25日			第2回策定推進委員会 ・後期基本計画(案)の修正について ・後期基本計画のシンボルプロジェクト(案)について
	6月29日		第3回策定部会 (1)後期基本計画(案)第6章～第8章について (2)策定部会第1回～2回分の修正について	
	7月7日		第4回策定部会 (1)地方人口ビジョンの制度概要について (2)地方版総合戦略の制度概要について	
	7月10日			第3回策定推進委員会 ・後期基本計画(案)の修正について ・後期基本計画(案)の目指す目標について
	7月24日			第4回策定推進委員会 ・亀岡市総合戦略、人口ビジョンについて ・目指す目標について
	7月30日		第5回策定部会 (1)後期基本計画 目指す目標(案)について (2)後期基本計画 シンボルプロジェクトのテーマ(案)について (3)後期基本計画修正(案)について	
	8月6日		第6回策定部会 (1)後期基本計画 目指す目標(案)について 第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議	
8月12日			第5回策定推進委員会 ・後期基本計画(案)の目指す目標について ・後期基本計画(案)の第4稿について ・総合戦略(素案)について	

年度	月日	事務局	総合計画審議会、策定部会	策定推進委員会(委員:部長会議メンバー)
H27年度	8月27日		第7回策定部会 (1) 後期基本計画 目指す目標(案)について 第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議	
	8月31日			第6回策定推進委員会 ・後期基本計画の目指す目標(案)について ・後期基本計画(案)第4稿について
	10月2日			第7回策定推進委員会 ・後期基本計画(案)第5稿について ・人口ビジョン・総合戦略(案)第1稿について
	10月15日		第8回策定部会 (1) 後期基本計画(案)の第5稿について 第3回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議	
	10月23日			第8回策定推進委員会 ・後期基本計画(案)の第5稿について ・人口ビジョン・総合戦略(案)の第1稿について
	11月13日	市長指示受け		
	11月17日			第9回策定推進委員会
	11月27日		第9回策定部会 第1回総合計画審議会 第4回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議	
	12月9日	中間答申		
H27年度 今後の予定	12月12日～ 1月11日	後期基本計画、人口ビジョン総合戦略に係るパブリックコメントの実施		
	12月16日	議会説明		
	1月中旬			第10回策定推進委員会
	1月中旬～ 下旬	パブコメ、議会意見に係る内容確認照会		
	1月下旬		第10回策定部会 第5回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議	
	2月上旬		第2回総合計画審議会	
	2月上旬		答申	
	2月上旬	総合戦略公表		
	3月	後期基本計画、議案上程		

# 第4次亀岡市総合計画 ～夢ビジョン～ 後期基本計画(案)について

平成27年12月16日全員協議会  
企画管理部 夢ビジョン推進課

## 序 論

## 1 第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～について

### (1) 計画の目的

- 前期基本計画を踏まえた新たな計画  
(社会動向の変化や新たな地域課題への対応)
- 少子高齢化、人口減少社会、自然災害の激甚化等への対応
- 京都縦貫自動車道の全線開通、京都スタジアム(仮称)の効果的活用等

### (2) 計画の性格

- 市民の参画と協働による計画
- 市民の視点に立ったわかりやすい計画
- 市民ニーズを踏まえた重点課題を戦略的に取組む計画

## 1 第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～について

### (3) 目指す都市像と計画の構成・期間

#### ① 目指す都市像

水・緑・文化が織りなす  
笑顔と共生のまち かめおか  
～セーフコミュニティの推進とにぎわいのまちづくり～

#### ② 計画の構成

##### 基本構想

- 目指す都市像 ○人口の目標
- 土地利用 ○施策の基本方針
- シンボルプロジェクト
- 進行管理 等

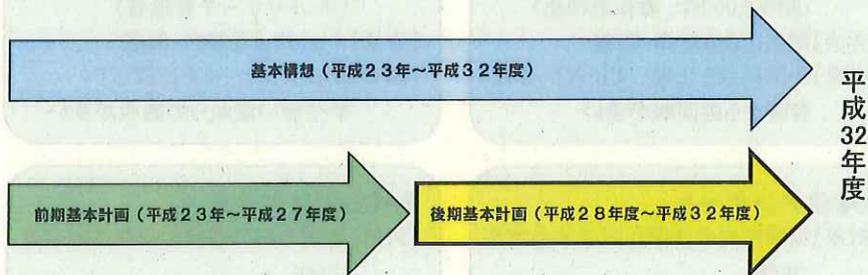
##### 基本計画

- 目指す都市像の実現のために、  
取組むべき施策を体系的・  
総合的に示した計画 等

## 1 第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～について

### (3) 目指す都市像と計画の構成・期間

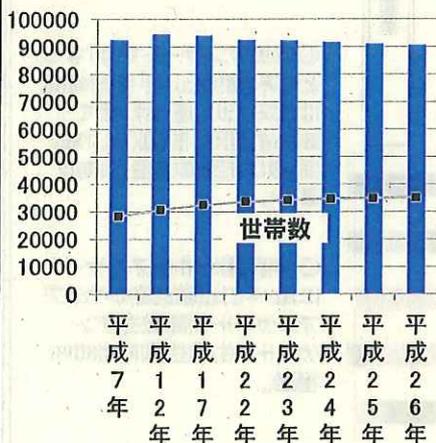
#### ③計画の期間



## 2 前期基本計画期間の本市を取り巻く変化

### (1) 前期基本計画期間の本市の変化

#### 人口等の推移



○人口は平成14年に減少に転じて以後、微減傾向が継続

○世帯数は増加し、一世帯あたりの世帯人員が減少傾向

○0～14歳人口比率はわずかに低下、15～64歳人口比率は低下、65歳以上人口比率が上昇

## 2 前期基本計画期間の本市を取り巻く変化

### (2) 市民意識

#### 市民アンケート

【対象】18歳以上の市内在住者1,074件  
(配布3,000件。無作為抽出)

【方法】郵送による配布・回収

【備考】年齢構成と比較して比較的年長者層からの回収が多い

#### ウェブアンケート

【対象】15歳以上の市内在住者106件  
(ネットリサーチ登録者)

【方法】ネットによる案内・回収

【備考】市民アンケートと比較してやや若い層からの回収が多い

#### 大学生アンケート

【対象】亀岡市内の大学に就学する学生  
79件

【方法】市内の大学に依頼し配布・回収

【備考】市内在住者は35.4%、市外では京都市居住者24.1%など

#### 高校生アンケート

【対象】亀岡市内の高校に就学する学生  
31件

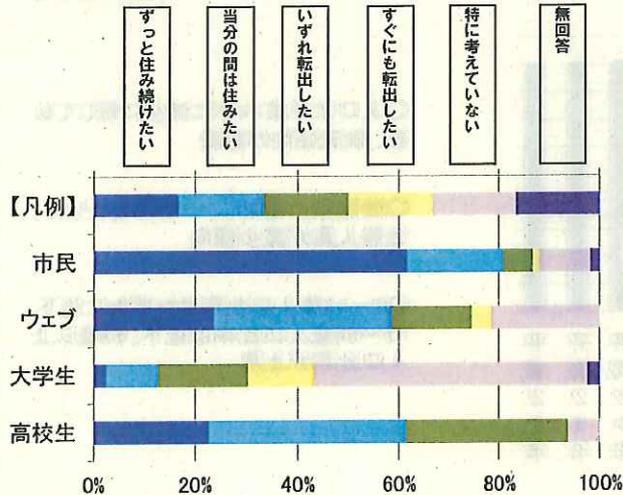
【方法】市内の高校に依頼し配布・回収

【備考】市内在住者は96.8%、  
その他は南丹市3.2%

## 2 前期基本計画期間の本市を取り巻く変化

### (2) 市民意識

#### 【定住意向】



○市民アンケートでは「ずっと住み続けたい」「当分の間は住みたい」を合わせて80%を超え、前回(81.1%)同様に市民の定住意向は高い。

○年齢層が市民アンケートに比べて比較的若いウェブアンケートや高校生アンケートでも定住意向は60%程度。

## 2 前期基本計画期間の本市を取り巻く変化

### (2) 市民意識

#### 【施策満足度上位】

選択項目	係数
良質な水の安定供給	3.50
健康づくりや医療の充実	3.48
下水道の整備と適切な維持管理	3.41
防災・消防の強化	3.39
資源循環の取組や適切なごみ処理	3.31

○ライフライン(上下水道)や安全・安心(健康・医療、防災・消防等)に比較的高い評価。

○安全・安心に対しては、満足度も高いが、引き続き高い重要度を示す。

#### 【施策重要度上位】

選択項目	係数
防災・消防の強化	4.23
交通安全・防犯の強化	4.18
良質な水の安定供給	4.14
健康づくりや医療の充実	4.11
高齢者福祉	4.05

○比較的高い年齢層からの回答が多いこともあり、健康づくり・医療や高齢者福祉への期待も高い。

※いずれも市民アンケートより

## 2 前期基本計画期間の本市を取り巻く変化

### (3) 前期基本計画の進捗状況

#### ① 定住人口

H21年度	H27年度	H32年度
実績値 94,003人	実績値 90,979人	目標値 100,000人

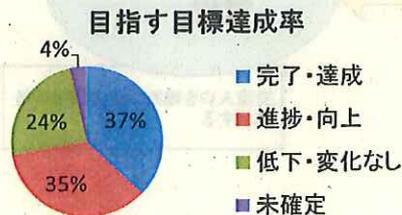
○「定住人口」は全国的な人口減少・少子高齢化の波と同じく、約3.0%の減少(H27.12.1現在)

#### ② にぎわい人口

H21年度	H26年度	H32年度
実績値 564万人	実績値 約556万人	目標値 600万人以上

○「にぎわい人口」は計画策定時から1.4%の減少

#### ③ 目指す目標 (%)



○「目指す目標」は、全54項目中  
→完了・達成37.0%(20項目)  
→進捗・向上35.2%(19項目)  
→低下・変化なし24.1%(13項目)

(以上、定住人口以外は平成26年度現在)

## 2 前期基本計画期間の本市を取り巻く変化

### (4) まちを取り巻く動向と課題

#### ① 急激な少子高齢化と人口減少



- 平成17年国勢調査で戦後初の人口減少
- 本市人口は自然動態・社会動態とも微減、少子高齢化も進展
- 将来、労働力不足、コミュニティの衰退、税収の減少、社会保障制度の不安定化等への危機

#### ② 安全・安心に対する意識の高まり



- 阪神・淡路大震災、東日本大震災、自然災害の激甚化
- 本市においては、自動車事故による痛ましい事件の発生
- 全国に先駆けたセーフコミュニティ、インターナショナルセーフスクールの取組

#### ③ 地方を取り巻く厳しい状況と、市民と行政の関係の変化



- 地方分権の進展と、地方自治体を取り巻く厳しい財政状況
- 地方自治体の自由度が高まる一方、責務、工夫・アイデア、獨創性等が求められる
- 「市民協働」は、今後のまちづくりで不可欠なものに

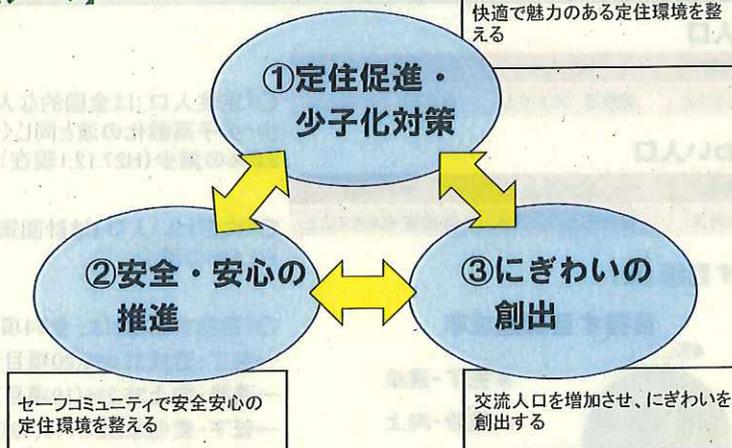
#### ④ グローバルな交流の進展と新たな魅力資源の創出



- 地球環境問題、経済のグローバル化、交通・情報通信ネットワークの急速な発達
- 外国人観光客の拡大、世界規模のスポーツイベントの開催
- 交流拠点としても期待される京都スタジアム(仮称)

## 3 後期基本計画の重点テーマ

### 【重点テーマ】



### 3 後期基本計画の重点テーマ

#### ① 定住促進・少子化対策

##### <現状と課題>

- 人口減少と少子高齢化の同時進行と、今後の加速度的進行の危惧
- 市民の高い定住意向
- 定住都市としての魅力(自然・田園、セーフコミュニティ、生涯学習など)
- 子育て世代の期待に応える環境

##### <解決策>

- 住んでいる人、これから住む人が快適に暮らせる環境づくり
- 子どもを安心して産み、育てられる出産・子育て・教育環境の充実
- あらゆる分野で定住促進・少子化対策につながる取組(快適な自然・生活環境、多様な就業機会を創り出す産業振興、効果的な土地利用)

##### <施策例>

- 地域ぐるみで取組む**産前産後の子育て支援**
- 学校・家庭・地域の連携で生きる力や個性を育む**学校教育**
- 多分野産業の連携・創造・誘致による安定した**雇用とまちの活力の創出** 等

### 3 後期基本計画の重点テーマ

#### ② 安全・安心の推進

##### <現状と課題>

- 自然災害、犯罪、事故などの不安の拡大、子どもや高齢者が被害を受けるケースの増加
- グローバルな人権問題、社会保障ニーズの拡大
- 安全・安心に対する市民の期待の高まり
- セーフコミュニティ認証都市としての実績

##### <解決策>

- セーフコミュニティの経験を活かした、災害や事故への被害や不安の抑制
- 市民の誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくり
- 誰もが健康に生きがいをもって暮らせる地域づくり
- 市民の主体的取組の支援

##### <施策例>

- 災害・犯罪・事故を予防する**セーフコミュニティ・インターナショナルセーフスクール**の推進
- 防災・減災や安全な交通環境に向けた**都市基盤及び公共インフラ**の整備
- 地域課題の解決やまちの賑わいづくりに向けた**市民・コミュニティの主体的な活動と協働**の推進 等

### 3 後期基本計画の重点テーマ

#### ③にぎわいの創出

##### <現状と課題>

- 今後の観光産業の発展の可能性
- 観光の役割の広がり(産業としての役割に加え、雇用創出、まちのブランド・知名度向上など)
- 京都スタジアム(仮称)の整備・活用及びスポーツに対する関心の高まり  
→三大観光やスタジアムというポテンシャル



##### <解決策>

- スポーツ観光やスポーツと三大観光との連携によるスポーツ観光の拠点づくり
- 地域資源(自然や歴史)を活かしたシティプロモーションと観光客誘致
- 来訪者の受け入れ環境の向上(観光サイン、自転車の利便性向上)



##### <施策例>

- まちをまるごとスタジアムとした、**スポーツを活かしたまちづくりの推進**
- 歴史文化など地域資源を活かし、国内外から来訪者を誘致する**観光の活性化**
- 新たな**観光資源の発掘**と受け入れ体制・**シティプロモーションの強化** 等

### 施策分野別基本計画

## 第1章 互いを認め合う、ふれあいのまちづくり

### ～人権の尊重・市民協働の推進～

- 第1節 人権尊重・平和
- 第2節 男女共同参画
- 第3節 コミュニティ
- 第4節 市民協働



#### ☞主な新規施策など

- 協働を促進するプロモーションの強化
- 市民活動への寄付を受け入れる基金の創設と運用
- 亀岡市を応援する組織づくり

## 第2章 安全で安心して暮らせるまちづくり

### ～安全・安心の推進～

- 第1節 セーフコミュニティ
- 第2節 防災・消防
- 第3節 交通安全・防犯
- 第4節 消費者保護



#### ☞主な新規施策など

- インターナショナル・セーフスクール活動の推進
- 原子力災害への対応
- 避難行動要支援者名簿の整備
- 高齢者による交通事故の防止
- 防犯カメラの整備

### 第3章 健康で元気あふれるまちづくり

#### ～健康づくり・福祉の充実～

- 第1節 健康づくり・医療
- 第2節 地域福祉
- 第3節 子育て支援
- 第4節 高齢者福祉
- 第5節 障害のある人の支援



☞主な新規施策など

- 福祉人材の育成
- 子育て支援ネットワークづくり
- 子育て世代が働きやすい職場づくり

### 第4章 豊かな心と文化を育むまちづくり

#### ～生涯学習・教育の推進～

- 第1節 生涯学習
- 第2節 就学前教育・学校教育
- 第3節 社会教育
- 第4節 文化芸術・歴史文化
- 第5節 生涯スポーツ
- 第6節 地域間交流・国際交流



☞主な新規施策など

- 幼児教育総合センター機能の強化
- 学校規模適正化の推進
- 学校施設における空調機器の整備の推進
- 中学校給食のあり方について検討
- まちの歴史・文化を学ぶ機会の充実
- 特色ある食文化の発信

<京都スタジアム関連（第5節）>

- スポーツを活かした地域づくり
- 京都スタジアム(仮称)の活用
- スポーツを活かしたまちづくりへの機運を盛り上げる情報発信の充実

## 第5章 人と環境にやさしいまちづくり

### ～生活環境の向上～

- 第1節 自然環境
- 第2節 地球環境・省エネルギー
- 第3節 資源循環・廃棄物処理
- 第4節 市街地
- 第5節 景観保全・形成
- 第6節 公園・緑地

#### ☞主な新規施策など

- 地下水の保全・管理・利用
- 亀岡市地球温暖化対策事業の推進
- 文化的景観保全に向けた連携
- わがまちの花・緑づくりの推進

#### <京都スタジアム関連（第6節）> 新たな交流拠点の整備

- 京都・亀岡保津川公園の整備
- 新たな拠点を活かした交流機会の充実

## 第6章 活力あるにぎわいのまちづくり

### ～産業の振興～

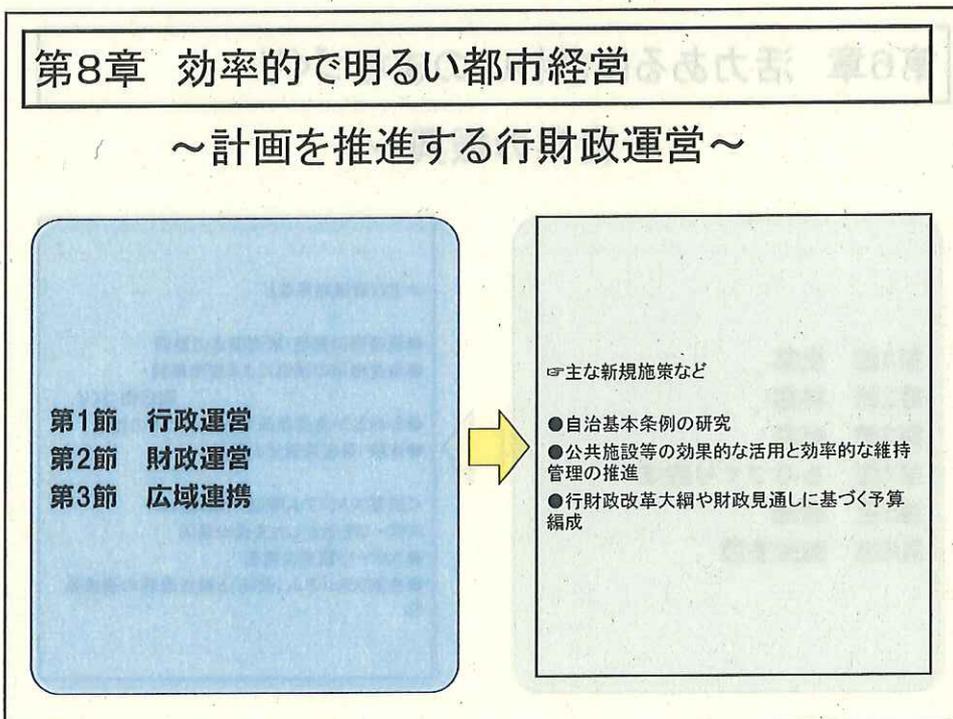
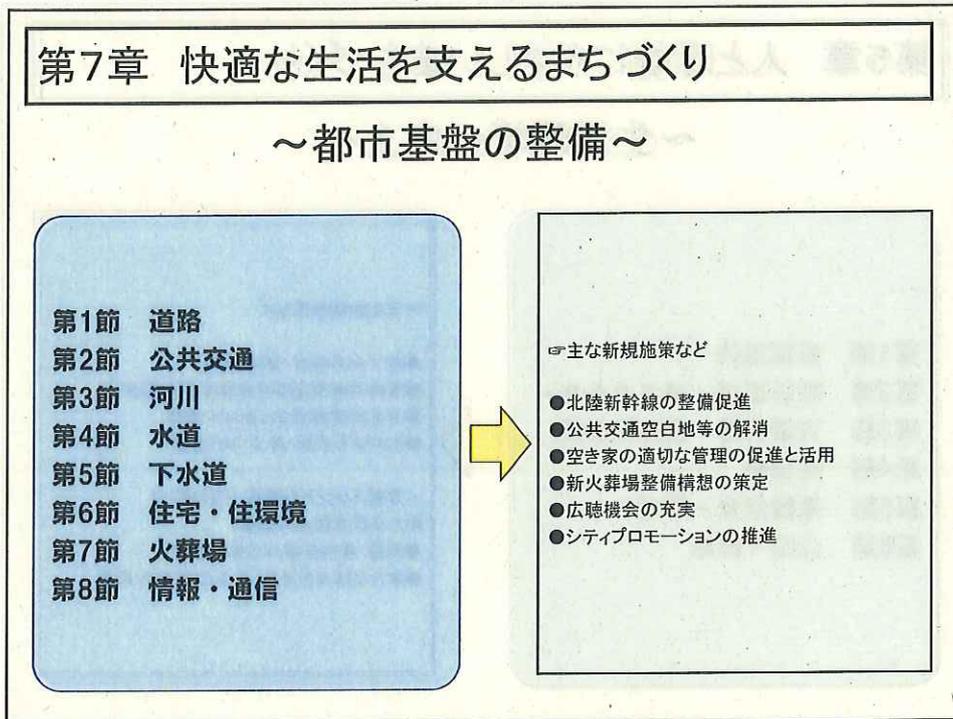
- 第1節 農業
- 第2節 林業
- 第3節 商業
- 第4節 ものづくり産業
- 第5節 観光
- 第6節 就労支援

#### ☞主な新規施策など

- 農産物の発信・販売拠点の整備
- 地産地消の推進による産業振興・  
商店街づくり
- かめおか食産業振興プロジェクトの推進
- 体験・滞在型観光の推進

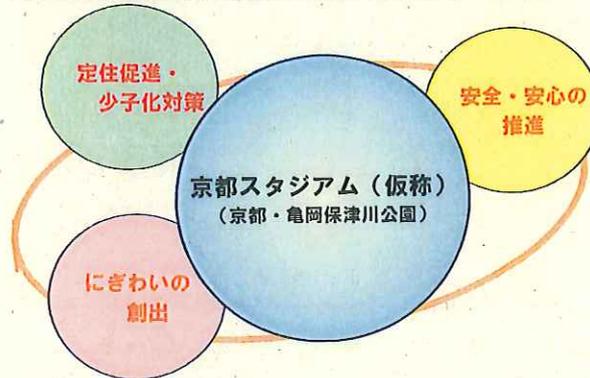
#### <京都スタジアム関連（第5節）> スポーツを活かした交流の振興

- スポーツ観光の推進
- 京都スタジアム(仮称)と観光資源の連携強化



## 後期基本計画のシンボルプロジェクト

テーマ: 京都スタジアム(仮称)と京都・亀岡保津川公園を活かしたまちづくり



- 市民の積極的な提案と主体的な行動を活かす。
- 市民・事業者・行政の協働で「夢」と「希望」の実現に取り組む。
- 知恵を出し合い、それぞれの強みや得意なところを活かして実施する。
- 新しいまちづくりを支え、担う人材を育てる。

## 第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～ 後期基本計画(案)について

企画管理部 夢ビジョン推進課

亀岡市の未来を共に描く

# 亀岡市人口ビジョン・ 総合戦略(案)について

平成27年12月16日全員協議会  
企画管理部 夢ビジョン推進課

内容の概要

## 人口ビジョン・総合戦略について

概要

## 人口ビジョン・総合戦略の根拠

### まち・ひと・しごと創生法(平成26年11月公布)

- 2008年に人口が減少に転じ、今後、加速度的に進む。
- 人口減少による消費・経済力の低下は日本の経済社会の大きな重荷に。
- 国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保する。
- まち・ひと・しごと創生は、**人口減少克服**と**地方創生**をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す。



- すべての都道府県及び市町村は、平成27年度中に「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」の策定に努める。



- 亀岡市においても、人口減少をはじめとする課題について、市独自の要因を把握し、「亀岡市人口ビジョン・総合戦略」を策定する。

## 人口ビジョン・総合戦略の内容

### 人口ビジョン

#### 【位置づけ】

地方公共団体における人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示する。

#### 【対象期間】

国の長期ビジョンの期間(～平成72年・2060年)を基本とする。

#### 【記載事項】

- (1)人口の現状分析 人口動向分析、将来人口の推計と分析
- (2)人口の将来展望 必要な調査分析、目指すべき将来方向、人口の将来展望

### 総合戦略

#### 【位置づけ】

地方人口ビジョンを踏まえ、地域の実情に応じた今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめるもの。国の戦略を勘案しつつ、効果の高い施策を集中的に実施する。

#### 【対象期間】

平成27年度～平成31年度(5年間)

#### 【記載事項】

- (1)基本目標(政策分野ごとの5年後の目標)
- (2)講ずべき施策に関する基本的方向
- (3)具体的な施策と客観的な指標(KPI)
- (4)客観的な効果検証の実施(PDCAサイクルの構築)

## 国・京都府計画との関係

### 国の長期ビジョン・総合戦略

【長期ビジョンの展望】

◎2060年1億人程度の人口確保(出生率2.07,東京一極集中是正)

【総合戦略の基本的な考え方】

- ① 人口減少と地域経済縮小の克服
- ② まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

【総合戦略 今後の施策の方向】

- ① 地方における安定した雇用を創出する
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った安全なくらし、地域と地域の連携

### 亀岡市人口ビジョン

【基本理念】(第4次総合計画を継承)

水・緑・文化が機りなす笑顔と共生のまち かめおか  
～セーフコミュニティの推進とにぎわいのまちづくり～

【位置づけ】

- 国・府の人口ビジョンと整合  
→京都府内の市ワースト3位の出生率向上。社会減の改善
- しごとと人の好循環を支えるにぎわい・交流づくり

### 京都府人口ビジョン・地域創生戦略

【人口ビジョン(将来展望)】

◎定住対策に全力で取り組む(出生率2.07,北・中部社会減解消)

◎交流人口の拡大もめざす

【地域創生戦略の基本理念】

○「京都流 地域創生」～文化創生から新たな生活を～

【地域創生戦略の基本目標】

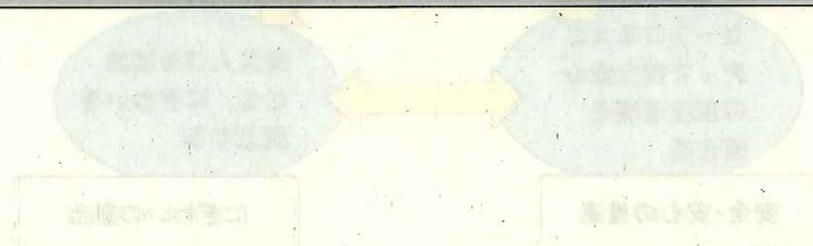
- ① 京都の未来を拓く人をつくる
- ② 地域経済を活性化させ、仕事をつくる
- ③ 京都への人の流れをつくる
- ④ 持続可能で魅力と活力のある地域をつくる

### 亀岡市総合戦略

【位置づけ】

- 2060年を目標とした人口ビジョンの実現に向け、2015～2019年において取り組む政策・施策
- 国の施策の方向との整合を図ると共に、総合計画・後期基本計画の重点テーマとの整合を図り、3つの基本目標を設定
- まちづくりの推進に国の支援策等を効果的に活用

## 亀岡市人口ビジョン・総合戦略について



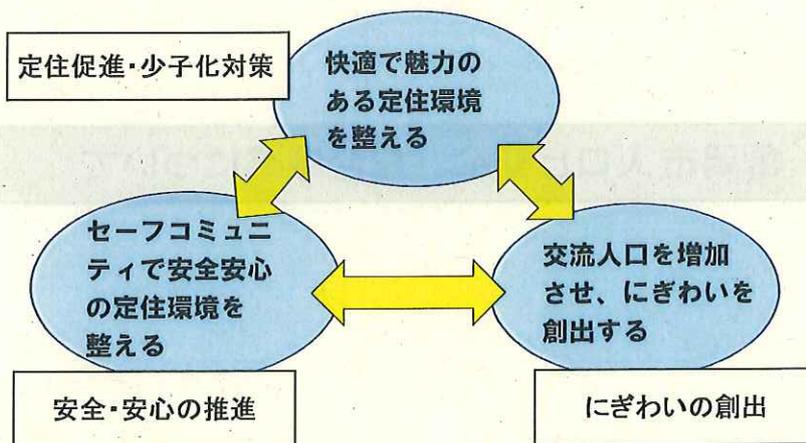
## 亀岡市人口ビジョン・総合戦略の基本理念

水・緑・文化が織りなす  
笑顔と共生のまち かめおか  
～セーフコミュニティの推進とにぎわいのまちづくり～

○子どもから高齢者まで、ふるさと亀岡を愛する全ての市民が、元気で、健康で、笑顔にあふれ、多くの恵みを与えてくれる自然とともに歩みながら、にぎわいのある明るい未来を切り拓く。

○総合戦略によって重点的な取組を明らかにし、セーフコミュニティや市民協働、生涯学習、環境政策など、本市が育んできた市民主体のまちづくりを推進する。

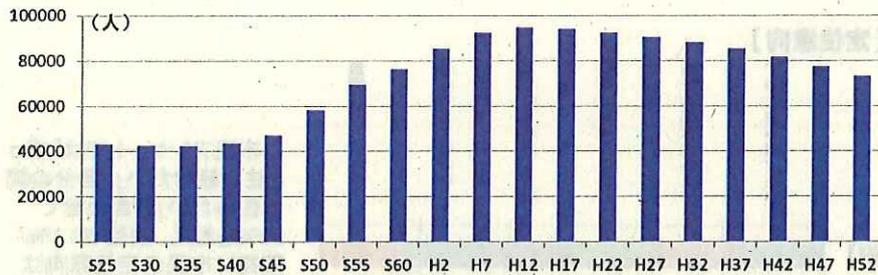
## 亀岡市人口ビジョン・総合戦略の基本目標



亀岡市人口ビジョン・総合戦略について

第1部 亀岡市人口ビジョン

1 数字でみる亀岡市～人口推計～



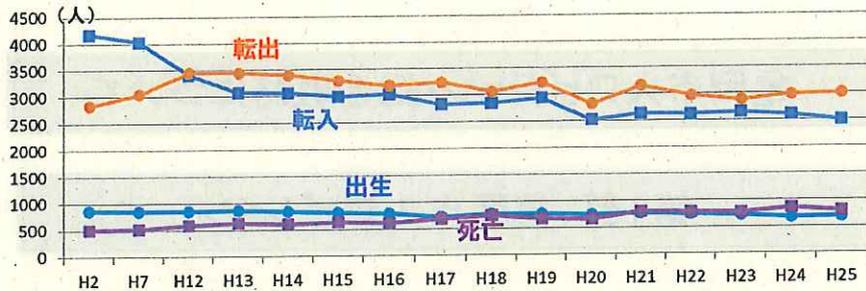
※H27以降は国立社会保障・人口問題研究所推計

○国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、亀岡市の人口は平成52年には73,000人まで減少

○平成17年に老年人口が若年人口を逆転  
○平成52年に高齢人口の比率は36.6%まで高まる予想

○核家族世帯・単独世帯が増加する一方、3世代同居が減少  
○1世帯当たりの人員も減少傾向

### 1 数字でみる亀岡市～社会動態・自然動態～



○社会動態(転出入)では、平成12年に転出が転入を上回り、転出超過に

○その後も転出超過が継続

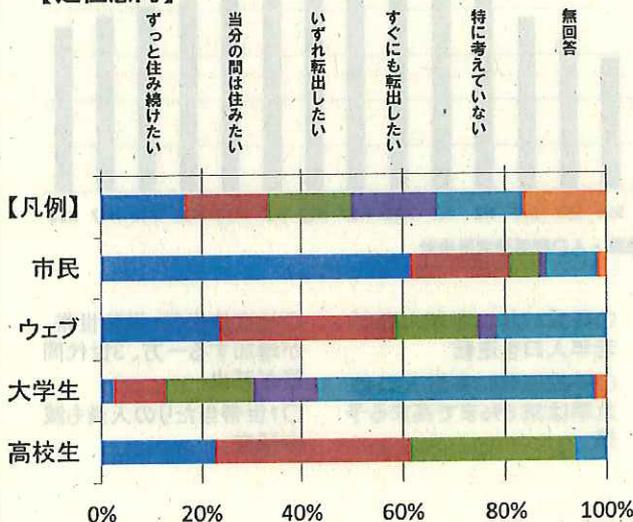
○自然動態(出生死亡)では、平成21年にはじめて死亡が出生を逆転、自然減に

○その後も自然減が継続

○年齢別の人口変化では、10歳代後半から20歳代の転出が顕著で、進学・就職を契機とした転出が要因に

### 1 数字でみる亀岡市～市民意識～

#### 【定住意向】



○市民アンケートでは「ずっと住み続けたい」「当分の間は住みたい」を合わせて80%を超え、前回(81.1%)同様に市民の定住意向は高い。

○年齢層が市民アンケートに比べて比較的若いウェブアンケートや高校生アンケートでも定住意向は60%程度。

## 2 亀岡市の人口の将来推計と分析

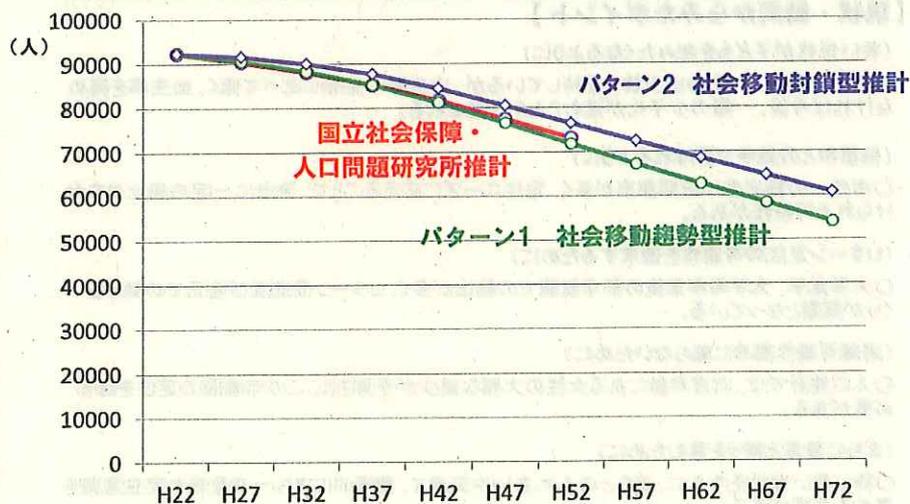
### (1) 人口推計及び人口シミュレーションの要件

	自然動態 出生・死亡	社会動態 転入・転出	平成52年 推計値	平成72年 推計値
国立社会保障・人口問題研究所	現行の状況が続く	転出超過が0.5倍に縮小	73,057	—
パターン1 社会移動趨勢型	現行の状況が続く	現行の移動が継続(転出超過)	71,820	54,027
パターン2 社会移動封鎖型	現行の状況が続く	移動なくなる(転出入均衡)	76,391	60,646
シミュレーション1 社会移動趨勢+出生率上昇	出生率2.07に上昇	現行の移動が継続(転出超過)	77,525	66,129
シミュレーション2 社会移動封鎖+出生率上昇	出生率2.07に上昇	移動なくなる(転出入均衡)	82,038	73,451
シミュレーション3 社会移動趨勢+出生率上昇+転入超過	出生率2.07に上昇	H42移動なくなる H52～転入超過へ	82,058	75,809

○出生率を2.07に高め、転出超過になっている人口移動が均衡後(H42)、転入増加すると仮定すると(H52から5年で1000人程度)、人口減少を一定抑制できる。【シミュレーション3】

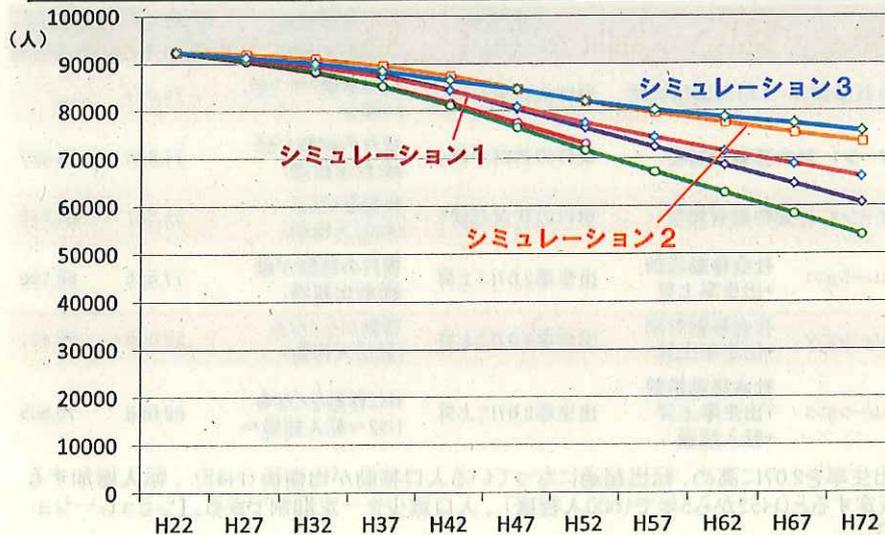
## 2 亀岡市の人口の将来推計と分析

### (2) 社人研、市独自推計による人口推計



## 2 亀岡市の人口の将来推計と分析

### (3) 人口推計シミュレーション



## 3 亀岡市の人口の将来展望

### (1) 目指すべき将来の方向

#### 【現状・動向からみたポイント】

(若い世代が子どもを産みたくるように)

○本市は現在、一定の出生数を維持しているが、出生率は他市に比べて低く、出生率を高めなければ今後、一層の少子化が進むことが予想される。

(他都市との競争で選ばれるように)

○市外への転出先は近隣都市が多く、定住ニーズに応えることで、流出に一定の歯止めをかけられる可能性がある。

(Uターン定住の可能性を追求するために)

○大学進学、大学等卒業後の新卒就職での転出が多く、Uターン促進及び地元での働く場づくりが課題となっている。

(消滅可能性都市に陥らないために)

○人口推計では、出産年齢にある女性の大幅な減少が予測され、この年齢層の定住を図る必要がある。

(まちに愛着と誇りを育むために)

○特に若い世代を中心に、まちとのふれあいや交流で、積極的にまちへの愛着や定住意識を高める必要がある。

### 3 亀岡市の人口の将来展望

#### (2) 人口の将来展望

①短期的展望 ～5年後の展望(平成32年)～

- 出生・子育てを支援する環境づくり、まちの情報発信(シティプロモーション等)による将来の定住人口確保
- 転入・転出均衡または転入超過による人口減少抑制

②中期的展望 ～10年後の展望(平成37年)～

- 雇用の受け皿を創出し、子育て世代や生産年齢人口の転入を促進
- 教育や協働のまちづくりを通じて、子どものまちへの愛着を育む、Uターン意識を啓発

③長期的展望 ～45年後の展望(平成72年)～

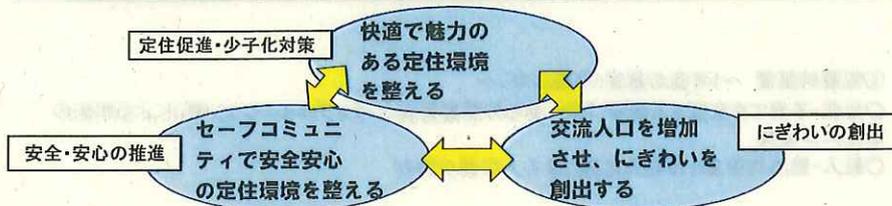
- Uターンの受け皿づくり(雇用機会等)
- 出生率と純移動率(転出超過傾向)の改善

### 3 亀岡市人口ビジョン・総合戦略について

#### 第2部 亀岡市総合戦略

# 1 基本目標と成果指標

## (1) 基本目標



## (2) 指標の設定

○指標により進捗管理

## 2 実施期間

○平成27年度～平成31年度(5年間)

# 3 基本目標実現のための主な取組

## 基本目標1 <<快適で魅力のある定住環境を整える>>

### 【数値目標】

- ・市外からの転入者数を5年間で300人増やす。(13,000人→13,300人)
- ・市外への転出者数を5年間で400人減らす。(14,300人→13,900人)

- (1)ものづくり企業のイノベーションで雇用を創出する
- (2)新たな商業振興でにぎわいを創出する
- (3)次代の担い手により農林業の雇用を創出する
- (4)市民やUターン希望者等の就労を支援する
- (5)元気な子どもが育つ環境を整える
- (6)まちへの愛着を育む生涯学習や文化を活性化する
- (7)生活の基盤・環境を整えて定住・転入の魅力を高める



### ☞ 主な具体的施策

- 企業誘致の推進
- 特産品の振興・ブランド化
- 安全安心な出産の支援
- 公共交通空白地等の解消
- 市民・団体の参加による花や緑のまちづくり

### 3 基本目標実現のための主な取組

#### 基本目標2《セーフコミュニティで安全・安心の定住環境を整える》

##### 【数値目標】

・安全・安心に関する市民満足度を5年間で5%増やす

- (1)セーフコミュニティを推進する
- (2)自助・共助・公助で防災・消防体制を強化する
- (3)防犯体制の整備・シニアを中心とした交通安全を推進する
- (4)ともに支えあう健康・福祉コミュニティを整備する
- (5)児童生徒の安全・安心を確保する
- (6)市民協働で地域課題を解決する
- (7)誰もがお互いを尊重し合うまちをつくる



##### ☞主な具体的施策

- セーフコミュニティの推進
- インターナショナルセーフスクールの推進
- 地域防災計画の見直し
- 交通安全啓発教室の開催
- 福祉コミュニティづくりの推進
- 高齢者の社会活動への参加及び就労機会の確保
- 市民活動支援基金の創設

### 3 基本目標実現のための主な取組

#### 基本目標3《交流人口を増加させ、にぎわいを創出する》

##### 【数値目標】

・にぎわい人口を600万人にする

- (1)亀岡の知名度を高める観光産業を活性化する
- (2)スポーツを活かしたまちづくりを推進する



##### ☞主な具体的施策

- シティプロモーションの推進
- 観光「亀岡」のPR
- 観光資源の魅力の向上
- 食と農の体感・体験支援
- スポーツを活かした地域づくり
- スポーツ観光の推進
- スポーツ環境の整備

## 4 戦略の推進と進行管理に向けて

### (1) 戦略の推進

#### ① 市民等との連携

・市民、経済界、学術・教育機関(学識者)等との連携

#### ② 国・京都府・関係自治体との連携

・国・京都府の各種制度や財源・人材・情報の活用

・財源の継続的な確保の要請

・広域行政、広域観光ネットワークに関連する地域・自治体との連携

### (2) 進行管理

#### ○ 進行管理体制

・外部有識者による進捗状況の管理・

把握と効果の検証

・市民への公表

・全庁的な総合調整と取組支援

・指標に基づくPDCAサイクル



## 亀岡市人口ビジョン・ 総合戦略(案)について

企画管理部 夢ビジョン推進課

該当箇所	現行記述	修正
1 62頁 4章4節 文化芸術・ 歴史文化	2 伝統文化の保存と活用 ●地域の民俗・伝承・伝統文化の継承【協働】 伝統的な民俗文化財を次代に伝えるため、資料・映像等の記録を活用し、継承者育成をはじめ住民意識の醸成を図ります。	2 伝統文化の保存と活用 ●地域の民俗・伝承・伝統文化の継承【協働】 伝統的な民俗文化財を次代に伝えるため <b>継承者の育成を推進するとともに、資料・映像等の記録の活用によって</b> 住民意識の醸成を図ります。
2 77頁 5章6節 公園・緑地	1 身近な公園・緑地の確保 ●開発行為に伴う公園の設置【行政】 開発行為者に対し、公園施設（遊具等）設置の指導を図ります。	1 身近な公園・緑地の確保 ●開発行為に伴う公園の設置【行政】 開発行為者に対し、 <b>公園機能の設置を指導</b> します。
4 81頁 6章1節 農業	5 有害鳥獣対策の実施 ●有害鳥獣駆除【協働】 鳥獣の保護と自然との調和を基本に、亀岡市有害鳥獣対策協議会及び近隣市町とも連携を図り、農林水産物及び生活環境被害の発生予防を支援します。	5 有害鳥獣対策の実施 ●有害鳥獣駆除【協働】 鳥獣の保護と自然との調和を基本に、亀岡市有害鳥獣対策協議会及び近隣市町とも連携を図り、農林水産物及び生活環境被害の発生予防を支援します。 <b>また、捕獲した有害鳥獣の活用についても研究します。</b>
6 88頁 6章5節 観光	1 観光資源の活用・整備 ●観光資源の魅力の向上【協働】 来訪者の視点で、三大観光をはじめ自然・歴史資源の発掘・見直しを行い、関係者との連携による魅力の向上を図ります。 …	1 観光資源の活用・整備 ●観光資源の魅力の向上【協働】 来訪者の視点で、三大観光をはじめ自然・歴史資源・ <b>食</b> などの発掘・見直しを行い、関係者との連携による魅力の向上を図ります。 …
5 88頁 6章5節 観光	2 観光PR活動の推進 ●アジアなど外国人観光客の誘致【協働】 観光入込客数・観光消費額の拡大を目指し、京都府観光連盟や近隣都市と連携し、近隣アジア諸国など、外国からの観光誘客を図ります。	2 観光PR活動の推進 ● <b>アジア</b> など外国人観光客の誘致【協働】 観光入込客数・観光消費額の拡大を目指し、京都府観光連盟や近隣都市と連携し、近隣アジア諸国など、外国からの観光誘客を図ります。
7 89頁 6章5節 観光	5 スポーツを活かした交流の振興 ●スポーツ観光の推進【協働】 京都スタジアム（仮称）の効果的な活用など、スポーツ観光を推進します。	5 スポーツを活かした交流の振興 ●スポーツ観光の推進【協働】 京都スタジアム（仮称）の効果的な活用など、スポーツ観光を推進するとともに、 <b>スポーツ観光への市民の気運を盛り上げる取組を推進</b> します。
3 96頁 7章3節 河川	3 適切な河川環境の創出 ●河川の親水性の向上【行政】 市民が自然や水と親しめる空間を創出するため、親水施設や水辺環境を整備します。	3 適切な河川環境の創出 ●河川の親水性の向上【行政】 市民が自然や水と親しめる <b>親水空間の創出や水辺環境の整備を推進</b> します。
8 105頁 7章8節 情報・通信	4 シティプロモーションの推進 ●シティプロモーションの推進【協働】 「にぎわい人口」の拡大やまちのブランド力強化に向け、トップセールスを行うとともに、市民が自らまちの広報役を担い、効果的なシティプロモーションを推進します。	4 シティプロモーションの推進 ●シティプロモーションの推進【協働】 「にぎわい人口」の拡大、まちのブランド力強化、 <b>市内産業等の情報発信によるUIJターンの推進等</b> に向け、トップセールスを行うとともに、 <b>様々な情報伝達手段について検討し</b> 効果的なシティプロモーションを推進します。
9		● <b>市民主体のプロモーション活動の促進【協働】</b> ロコミやSNSなど、市民が自らまちの広報役を担う効果的なシティプロモーションを <b>促進</b> します。